

宮城県土木部 復興だより第21号

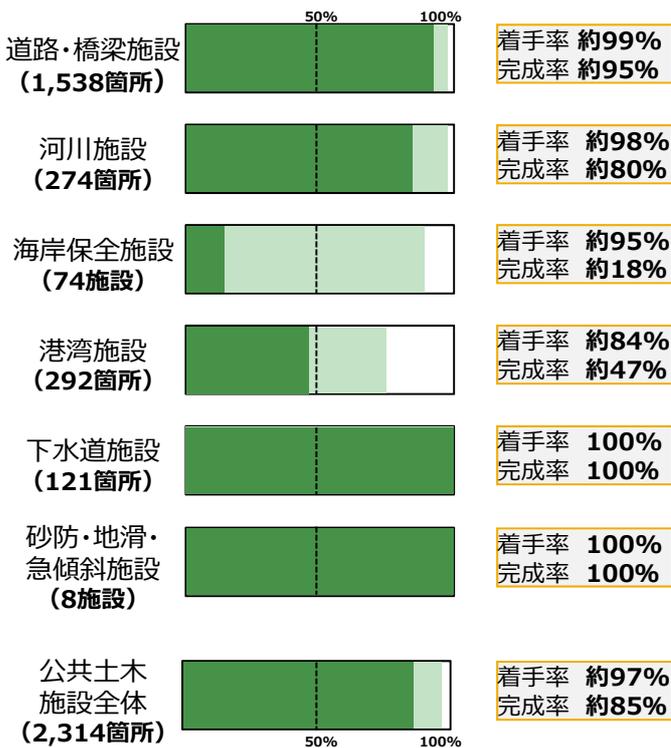
contents

- ・復旧・復興事業の進捗状況【平成27年11月末現在】
- ・復興トピックス(平成27年9月中旬～12月中旬)
- ・平成27年9月関東・東北豪雨への取組



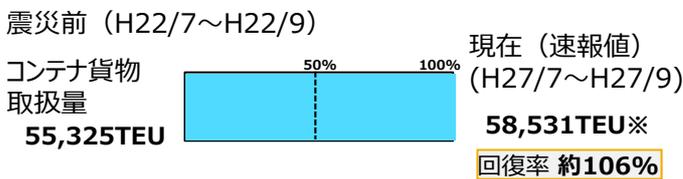
復旧・復興の進捗状況【平成27年11月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況



■ 着手率：工事請負契約を締結したもの
■ 完成率：工事が完了したもの

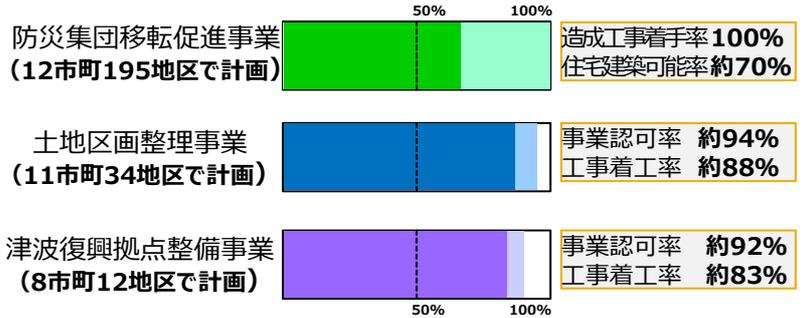
●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



■ 回復率：震災前(H22/7～H22/9)に対して現在(H27/7～H27/9)のコンテナ取扱量(TEU)の割合

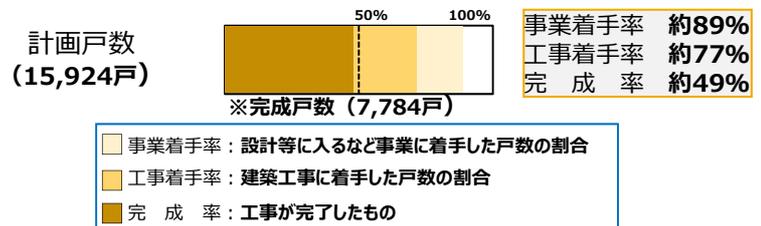
※TEUとは20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

●復興まちづくり事業の進捗状況

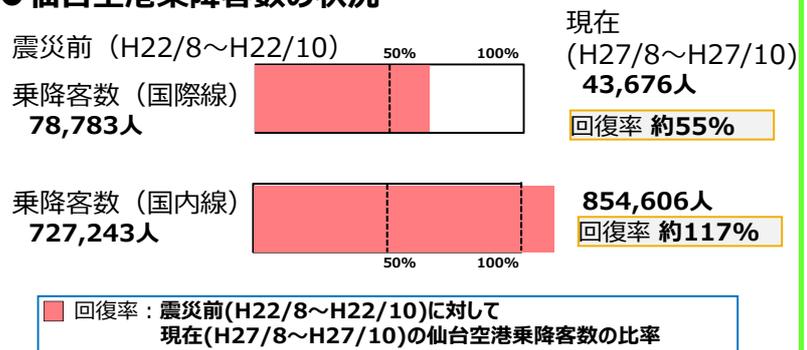


■ 造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
■ 住宅建築可能率：造成工事が完了するなど住宅等建築工事が可能となった地区の割合
■ 事業認可率：事業計画が知事の認可を受けた地区数の割合
■ 工事着工率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区の割合

●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス (平成27年9月中旬～10月)

9月

●9/9～9/11 関東・東北豪雨

●9/17,10/9 七ヶ浜町菖蒲田浜地区 災害公営住宅 完成引き渡し

●10/1 多賀城市新田地区災害公営住宅入居式

多賀城市では532戸の災害公営住宅を市内4箇所に整備する計画となっています。新田地区は新田浄水場の跡地に建てられた、3階建て3棟、計48戸の集合住宅です。当日は、棟内に整備された集会所で入居式が行われ、鍵の引渡しが行われました。

●10/4 三陸自動車道「石巻女川IC」及び 県道「石巻女川インター線」開通式

●10/8 宮城県土木部 優良建設関連業務及びMVP表彰式

県土木部が発注した建設関連業務のうち、業務成績が特に優れ、他の模範となる受注業者及び技術者を「優良業務」及び「優良技術者」として、また、業務成績が最も優れ、他の模範となる技術者を「MVP」として表彰しました。今年度は、優良業務表彰15業務・12社、優良技術者表彰15業務・14名、MVP表彰6業務・6名が受賞されました。
※MVP: Most Valuable Professional

●10/16 JICA 海外技術職員の皆様が来訪

石巻東部浄化センターにJICA「下水道技術・都市排水コース」施設見学で13カ国16名の技術職員の方々が来訪されました。

●10/17 七ヶ浜町菖蒲田浜地区 災害公営住宅 鍵引渡式開催

●10/17-18 ソラ行け旅フェスタ2015開催

仙台市中心部商店街を会場に、仙台空港から出発する「旅」を紹介するトラベルフェスティバル「ソラ行け旅フェスタ～TRAVEL FESTA 2015 in SENDAI～」が開催されました。両日とも多くのお客様が来場され、航空会社や政府観光局等によるPRブース出展、スタンプラリー、ステージイベントなどで大変な賑わいとなりました。

●10/21 みやぎ復興住宅フォーラム ～住まいの復興に向けて～開催

●10/26 仙台塩釜港 コンテナ定期航路 新設

仙台塩釜港(仙台区)と韓国の釜山港などをダイレクトに結ぶ新たな航路が開通されました。この航路は、東北唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港とアジアのハブ港である釜山港を直接結ぶ航路です。今回の航路開設により韓国航路が2航路週2便に増便され、輸送頻度が上がることで、本県をはじめ東北各県に立地する企業による世界各国との輸出入の利便性が更に向上するものと期待されています。

●10/30 平成27年度第一回「知水講座」開催

「知水講座」は、公開講座として、県民の皆様に宮城県の河川行政を知っていただくとともに、今後の宮城県の河川行政のあり方を一緒に考えることを目的として、平成16年度より開催しています。県からの話題提供の後、宮城大学の宮原育子教授より、「地形から読む身近な河川の恩恵と物語」と題して、暮らしの中にある河川について、地形から読む身近な河川をキーワードに、信玄堤(しんげんつつみ)や水塚(みづか)など先人の水防の智恵や、海外の水事情、まちづくりなどの事例紹介を交えた基調講演をいただきました。

●9月17日,10月9日 七ヶ浜町災害公営住宅完成引き渡し

七ヶ浜町菖蒲田浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅は100戸で、入居が始まっています。



七ヶ浜町菖蒲田浜地区



鍵引渡式
(七ヶ浜町菖蒲田地区)

▲他の地区の災害公営住宅の整備状況については、復興住宅整備室ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukujuu/>

●10月4日 三陸沿岸道路「石巻女川IC」及び 県道「石巻女川インター線」開通式

三陸沿岸道路「石巻女川IC」と「石巻女川インター線」の開通は、石巻市街地の交通渋滞を軽減するとともに、石巻赤十字病院への広域的なアクセスの強化や、女川町を含む石巻圏域の交流・物流基盤の強化、さらには、大規模災害時における避難路としても、重要な役割を果たします。



●10月21日 みやぎ復興住宅フォーラム ～住まいの復興に向けて～開催

フォーラムでは「住まい」の復興に焦点を絞り、東松島市宮戸島のまちづくりに携わった建築家の妹島和世氏と、南三陸町でデザインの力による復興支援活動を行った宮城大学准教授の中田千彦氏を迎え、復興の先にある新しいまちづくりのために、建築に関わる者がどのように取り組んでいくべきか、フォーラム参加者も交えて議論を深めました。



パネルディスカッション

復興トピックス (平成27年11月

～12月中旬)

11月

●11/2 復旧・復興現場見学会の実施

古川工業高校土木情報学科1～3学年(119名)の生徒のみなさまに東部土木事務所管内(石巻市, 女川町, 東松島市)の復旧・復興の進む工事現場を見学していただきました。未来の建設業を担う人材である生徒のみなさまには, 土木技術に対する興味関心を深めていただくことができました。

●11/5 東侍浜地区海岸災害復旧工事竣工式

●11月5日

東侍浜地区海岸災害復旧工事 竣工式

東侍浜地区海岸(石巻市荻浜地先)は, 東日本大震災により, 既存堤防が沈下, 倒壊するなど甚大な被害が発生しました。これを受けて, 早期に施設の機能回復を図るべく, 災害復旧工事を実施してきました。工事着工から2年を経て無事に工事が完成したことから竣工式を開催しました。



●11/7 仙台塩釜港 コンテナ定期航路 新設

仙台塩釜港(仙台港区)と極東ロシアのウラジオストック港, ポスターチヌイ港をダイレクトに結ぶ新たな航路が開設されました。

この航路は, 仙台塩釜港の外貿コンテナ定期航路として初めてロシア連邦と直接結ばれる航路であり, 東北地方の太平洋側に位置する港湾としても初寄港となります。仙台塩釜港を利用した輸出入の選択肢が広がるばかりでなく, 当該航路では仙台塩釜港が日本でのファーストポートとなることから, 特に輸入における利便性の向上が期待されます。

●11/15 国道108号花洲山バイパス開通式

●11月15日

国道108号花洲山バイパス開通式

国土交通省が「国直轄権限代行業」として整備を進めてきた国道108号花洲山バイパスが11月15日に開通しました。

国道108号は, 石巻市から秋田県由利本荘市に至る広域幹線道路であり, 物流や観光の面で重要な役割を担っています。花洲山バイパスは, 交通難所の解消や災害時の迂回路の確保を目的として整備が進められてきました。今回の開通により, 災害に強く, 安全・安心で快適な交通が確保され, 宮城・秋田両県の連携強化と交流促進, 地域の産業経済の活性化や観光振興への効果が期待されます。

●11/18 第2回新・みやぎ建設産業振興懇談会

本懇談会は, 建設産業の振興策について, 広く有識者からの意見を伺うために設立されたもので, 今回が第2回目となります。

当懇談会の意見を踏まえ, 平成28年3月を目途に「新・みやぎ建設産業振興プラン」を策定することとしています。

●11/27 まちづくりと下水道に関する勉強会開催

今後迎える人口減少社会等を踏まえ「まちづくりと下水道経営」について, 先進自治体からの事例及び状況を学ぶため, 「オガールプロジェクト」で注目を集めている岩手県紫波町より講師を招き, PFI手法を用いた町管理型浄化槽整備や地方公営企業法の適用等, 特徴的な取り組みを紹介していただき, 勉強会を開催しました。

●12/1 七ヶ浜町花洲浜地区

災害公営住宅新築工事完成引き渡し



開通式



写真出典：仙台海川国道事務所

●12/1 県道 泉塩釜線(南宮工区)4車線供用開始

県道 泉塩釜線の多賀城市南宮工区は平成21年4月に暫定2車線で供用を開始しましたが, 震災後, 本路線と接続する三陸自動車道 多賀城ICの整備にあわせて, 4車線化工事を進めてきました。4車線化により, 三陸自動車道と周辺地域のアクセス向上が図られます。

●12/9 七ヶ浜町代ヶ崎浜地区

災害公営住宅新築工事完成引き渡し

●12/13 国道4号「築館バイパス」及び市道「栗原中央線」開通式

国土交通省及び栗原市が整備を進めてきた国道4号築館バイパス及び市道栗原中央線の開通式が行われました。

国道4号築館バイパス及び市道栗原中央線の開通は, 栗原市街地における交通渋滞の解消, 通勤通学時の安全確保や栗原中央病院へのアクセス向上に加え, 市の東西交通軸として栗原市の豊かで活力ある地域づくりに寄与するものです。

●12月1日,9日

七ヶ浜町全ての地区において

災害公営住宅完成引き渡し

七ヶ浜町花洲浜地区及び代ヶ崎浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し, 引き渡しが行われました。完成した住宅は, 花洲浜地区50戸, 代ヶ崎浜地区24戸で, すでに入居が始まっています。今回の完成で七ヶ浜町で計画されていた全ての災害公営住宅が完成しました。

七ヶ浜町代ヶ崎浜地区



▲他の地区の災害公営住宅の整備状況については, 復興住宅整備室ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukujuu/>

12月

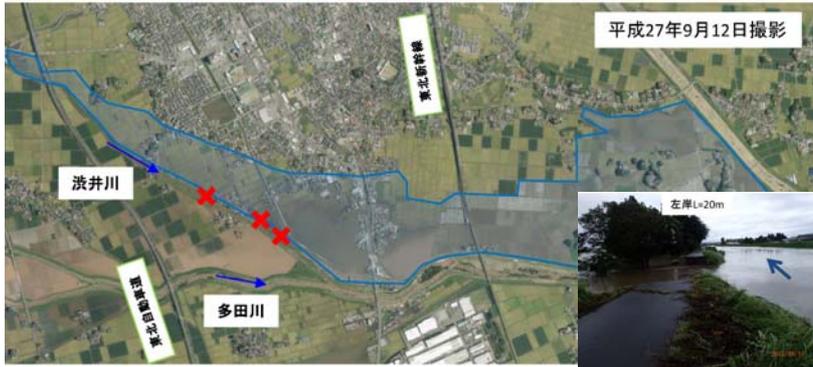
平成27年9月関東・東北豪雨への取組

9月10日夜遅くから11日明け方にかけて、東北地方や関東地方に発達した積乱雲が停滞し、各地で観測史上最大の記録的な豪雨となりました。宮城県には、東北地方では初となる大雨特別警報が発表され、県内陸部を中心に大きな被害が発生しました。

● 宮城県の被害状況

宮城県では、発達した積乱雲が停滞したため、記録的な豪雨となりました。栗原市駒ノ湯で1時間降水量が72.0mmを観測したほか、最大24時間降水量が仙台市泉ヶ岳で293.0mmなど、観測史上1位の値を観測しました。この大雨により、鳴瀬川水系渋井川にて堤防が決壊(左岸3か所)し、約430haが浸水するなど宮城県内で多くの被害をもたらしました。

《渋井川の堤防決壊状況》



<人的被害>

死者	2名 (栗原市)
行方不明者	0名
重傷者	1名 (栗原市)
軽症者	2名 (丸森町, 大崎市)

<住家被害>

全壊	1棟 (白石市)
半壊	480棟 (柴田町ほか)
一部破損	365棟 (白石市ほか)
床上浸水	179棟 (大崎市ほか)
床下浸水	637棟 (大崎市ほか)

<公共土木施設被害>

全体 (県・市町村所管)	932箇所 189億円
河川 (県所管分)	496箇所 138億円
内訳	
100河川 496箇所 で被災	
そのうち 渋井川ほか11河川23箇所 で堤防決壊	
危機対策課(平成27年10月16日現在)	

● 総合治水対策の効果(長沼ダム)

平成26年に完成した長沼ダムにおいては、完成して初めての洪水調節となりました。今回の洪水調節により5,365千m³を貯留しました。これにより、下流河川の水位上昇を軽減し、避難の判断の基準となる「はん濫危険水位」以下の水位に抑えることができました。



● 今後の取組

宮城県では、今回の豪雨災害により被災した施設の早期復旧を目指し、平成27年11月議会で災害復旧費の補正予算を編成し、本復旧工事の早期発注を行うこととしております。

さらに、今回の豪雨災害を踏まえ、近年浸水被害が発生した河川の再度災害防止と、県内全域における警戒避難態勢の強化に向けて、平成32年度まで緊急かつ集中的に治水対策を推進することとし、11月補正予算において「災害に強い川づくり緊急対策費」を編成しました。

「災害に強い川づくり緊急対策事業」とは、水害常襲河川の解消、円滑な避難に向けたソフト対策及び適切な維持管理による河道断面の確保を行うものです。今年度は、自記水位局のテレメータ化※や、今回決壊や越水した全ての河川を対象に堤防点検を実施するとともに、堆積土除去や支障木伐採などを緊急的に実施することとしています。

(※河川水位をリアルタイムに把握し、情報提供に活用出来る)

● 災害査定状況

宮城県では11月16日から12月18日にかけて、5週間にわたり国による災害査定が実施されました。宮城県と市町村を合わせた査定決定額は761件、約160億円2千万円、査定率は94.1%でした。(内、宮城県 496件、約138億7千万円、査定率93.2%)

災害復旧助成事業※1(善川)、災害関連事業※2(渋井川、吉田川)も現地査定が実施されており、今後事業採択に向けて、国と協議を進めます。

※1:規模が大きく、通常の災害復旧のみでは不十分な場合、一定の計画に基づく改良工事

※2:被災した施設の効用増大、被災していない施設を含めた一連の改良工事



善川(浸水状況)



新大江川(浸水状況)

▲詳しくは河川課ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/h27t18.html>



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.jp

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>